

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 2月 13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670102542号
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム 桜
所在地	鹿児島市下福元町9057番地 (電話) 099-210-8655
自己評価作成日	平成24年2月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

名称の通り、桜の木々に囲まれ自然環境に恵まれた地に「桜」がある。開設して11年目になるが、職員は常に利用者・家族のニーズに応えられる様取り組んでいる。それぞれの居室にトイレと洗面台が設置してありプライバシーが確保されている。「みんなで・・・入居者、家族、職員が一体となり心を合わせる」「ゆっくり・・・ゆとりのある心で接する」「楽しく・・・一人ひとりが笑顔で過ごす」を目標にしている。隣接するケアハウスの入居者と一緒に花見や運動会の行事を楽しみ、町内会の清掃作業や文化祭等に参加している。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは名称の通り、桜の木々や緑に囲まれた広い敷地にあり、散策や花見を楽しめる環境に立地している。ホーム内も民芸品や竹細工の飾りつけがあり、暖かい家族的雰囲気が感じられる。明るくておしゃべりが好きな利用者が多く、活気があり、グループホーム本来の姿が伺える。新聞を読むことが日課の利用者や裁縫好きの利用者がおり、ジグソーパズルに興じる利用者など、日々をその人らしく過ごしている。各居室にはトイレも設備されており、プライバシーの確保につながっている。また、昼間はリビングで過ごす時間が多い生活であるが、トイレ時などはそれぞれの居室に帰ることを通じて生活リハビリにつながっている。職員が2ユニット全利用者を把握して関わられるよう、ユニットに捉われない勤務体制を取っている。そのような取り組みから職員、利用者、家族のコミュニケーション、そして協力体制がスムーズに図られている。町内会へ入会し、管理者は町内会の総会や行事に参加するなど、地域に開かれたホームめざし日々取り組んでいる。家族会と運営推進会を抱き合わせ、参加者を増やして多くの意見がもらえるよう工夫や努力がなされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日理念の唱和をすることで統一したケアが出来るよう意識付けをしている。	現状に合った理念として「地域住民との交流の下で」の文言をいれ、地域密着型サービスの理念を作成している。毎朝唱和し、カンファレンスでも話し合いの機会を持ち、意識付けを図りながらケアに反映させている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員を交え町内会の行事や会合へ参加している。毎年中学生の職場体験等の受け入れをしている。	町内会に加入し、清掃作業や文化祭や夏祭りの見学をしている。併設の他施設に保育園、幼稚園が訪れる時には利用者も参加し交流できている。中学校の職場体験学習の受け入れもあり、また、ケアハウスの花火大会には家族や職員の子供などが参加し、交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の行事に参加し交流を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で地域包括や家族・民生委員と意見交換出来ている。	ホームの催しに合わせて運営推進会議を持つ工夫をし、多数の家族参加を得ている。ホームの状況報告、グループホームのあり方や役割、町内会との連携や町内会全体の避難訓練についての話し合いも行われていることから、地域との関わりが深まる会議になっている。	

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話連絡などで相談助言を受けている。	生活保護受給者もおおり、生活保護課担当者との連携や介護保険課などへの相談や情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在は該当者はいないが、身体拘束をしないケアへの取り組みをカンファレンスや勉強会で情報を共有している。	毎月のカンファレンスや勉強会で、身体拘束をしないケアへの話し合いや意識づけを行い情報を共有している。本人の思いや身体の力を把握し、活かしながら、鍵をかけずに自由な生活の支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会に参加し虐待について学びカンファレンス時に情報共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加したいが現在該当する方がいない。		

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分時間をかけて説明を行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し意見を気軽に提出して頂ける様にしている。	「桜季節便り」を年に4回発行している。敬老会時に家族会をもって話し合い、意見や要望を聴く機会としている。運営推進委員会や園外活動にも家族が多く参加しており、意見を貰いやすい雰囲気を作っている。利用者や家族から得た意見や要望は運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の職員会議やカンファレンスを行い、日頃からコミュニケーションをとれる環境作りに努めている。	月1回、2ユニット全員で職員会議を行っている。職員からは活発な意見や提案があり、運営に反映させている。法人内異動はあるが、離職も少なく、勤続年数の長い職員も多くコミュニケーションも良く図られている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者と管理者とで意見を交換できる体制をとっている。		

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や勉強会に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>つき1度の地域での勉強会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	十分にアセスメントを行いご本人の不安を軽減できるような関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分にアセスメントを行いご家族の不安を軽減できるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時としている支援を反映できるサービスに繋げる様努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いを共感し支えあえる環境づくりに努めている。		

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いを共感し支えあえる環境作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から馴染みにしている友人、知人の面会がある。	年1回は利用者の希望を聞いてなじみの場所（墓参り、自宅周辺、デパート、大型スーパー）に関係継続の支援をしている。家族に行きつけの美容院、温泉などに連れて行って貰っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に居間にて利用者同士が多く会話が出来ている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族の面会があり相談に載っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中から思いや希望の把握に努めている。	日常会話の中で思いを聞くようにしている。全員、意思疎通ができるので必ず会話や筆記で本人の意思確認を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックを行い生活リズムを尊重し身体状態を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで意見を出し合い代表者会議・モニタリングを十分に行っている。	自宅にいた時からの仲の良い友人の訪問や、家族の支援、利用者のホームでの役割りや趣味等をサービス内容に上げ、地域でその人らしく暮らし続ける為の個別介護計画を作成している。 6ヵ月毎に、定期的な見直しを行っている。状態変化があればその都度見直ししている。	

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者の状態を、個々のケース記録や連絡帳に記載し職員間での情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>既存のサービスに捉われず、その時々ニーズに対応出来るよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員の協力を得て行事等へ参加出来るよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医にて月2回の訪問診療を受けているご家族にもご協力頂き他病院等の受診も行っている。</p>	<p>希望のかかりつけ医への支援体制を整え、基本的に家族同行をお願いしている。緊急時や家族の状況に応じてはホーム職員の受診支援もある。協力医の月2回の往診があり、利用者の健康管理が行われている。</p>	

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師に気軽に相談出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際は、面会や連絡等にて本人の状態を把握できている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人と家族の意向を踏まえながら急変時すぐ対応していただけるよう医療との連携を図っている。</p>	<p>入居時ホームの方針を口頭で説明している。状況変化に伴って主治医のもと家族の話し合いをもって方向性を決め、ホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。</p>	<p>事業所の力量や体制が重度化や終末期を支えていけるかを見極め、話し合いを十分行い、明文化した看取りの指針を作成し、関係者との共有化に期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急救命の研修を受け、緊急の連絡体制を整えている。</p>		

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署の協力を得て消防訓練を行っている。</p>	<p>年1回は運営推進会議に絡ませて実施、家族、地域住民も参加、意見をもらう機会にしている。併設の施設とは協力体制の話し合いができています。スプリンクラーも設置済みである。雨量計を設置して水害に対するマニュアルを作成している。非常用の食料、水を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、自尊心を傷つける様な態度や言動を慎み対応している。	入職時に利用者の人格の尊重とプライバシーの確保について研修している。排泄、入浴時の声掛け、対応には特に注意を払っている。言葉かけも優しく、個々に応じた対応を実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう援助・助言を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護する側でなく、介護される側になり本人のペースを尊重し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	化粧品の購入、訪問美容にておしゃれが楽しめる環境作りを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に好物を取り入れたり、一緒に準備や片付けをすることで、食事への楽しみへ繋がっている。	日常会話の中で好物を聞いて献立に取り入れている。裏山で散歩の途中、ツワを採ってきて皮むきしたり、味噌作り、梅干、あくまき等も利用者と共にしている。園外レクリエーションで外食をとり入れ、ファミリーレストランやソーメン流しなどに出かけている。	

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取状況を毎日チェックし記録に残している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄の習慣や時間を把握しトイレの声掛け誘導をすることにより、トイレで排泄出来るよう支援している。	日中は全員トイレでの排泄を支援している。各居室にトイレが設備されているのでプライバシー確保もできている。日中はリビングで過して、トイレの度に居室に戻る事が生活リハビリに繋がり、効果も得ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫、水分補給、身体を動かす機会を設けるよう支援している。		

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご本人の希望を踏まえ入浴して頂いている。	自立している利用者もおり、職員の見守りで安心して入浴できるように支援している。毎日入浴する利用者もおり、個々に応じて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活のリズムを整えるよう努める。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に薬情ファイルがあり、情報の共有が出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった役割を持っていただくことで、張りの有る生活を過ごせている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の気分や希望に応じて家族の協力を得て、散歩買い物の支援が出来ている。	敷地内の散歩や買い物同行している。利用者は週1回の買い物を楽しみにしている。季節ごとの行事、地域行事に参加している。季節ごとの行事には家族参加もあり協力支援貰っている。	

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得て少額のお金を持っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて、随時電話や手紙を出せるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な空間を出せるよう工夫している。</p>	<p>改造された民家ではあるが、和の飾り物で、家庭的な雰囲気を出している。ホーム内の随所にソファを置いて一人の時間を過ごす場も確保し、落ち着いて生活できる環境を作っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>孤立せず明るい場所で他入居者との交流を深めたりコミュニケーションを図る場所の確保が出来ている。</p>		

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が心地よく過ごせるよう使い慣れた家具や仏壇等を置いている。</p>	<p>テレビ、タンス、位牌、ソファ、電気ポット、新聞、裁縫道具など本人の趣味や在宅からの生活習慣をそのまま継続できるよう支援している。安心して過ごせる居心地のよい個別性のある居室である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせ、手すりなどを設置し、安心して自立した生活が送れるようにしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム桜 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない